

STAR WARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO ARTIST PROFILE



Katsuya Kamo (加茂克也) ヘアスタイリスト/メイクアップアーティスト

アートさながらの大胆かつ繊細なヘッドピース、羽根やメタルに代表される異素材のコラージュ、またはシンプルでもどこか狂気的なオラを放つモノクロームのヘアメイクデザイン。クリエイションは常にオリジナリティに溢れ、気が遠くなるようなアナログのプロセスを経て、最終的には誰が見ても美しいと感じるバランスに着地する。混沌と秩序の狭間で美を追求する、その極めて東京的ともいえるセンスは世界のファッションの舞台において比類のないものであり、トップデザイナーやクリエイターとともに、ファッション表現におけるヘアメイクの可能性を広げ続けている。
現在、東京、ニューヨーク、パリの3カ所を拠点に置き、グローバルなフィールドで活動中。



Kim Songhe (キム・ソンヘ) シャンデリア・アーティスト

キム・ソンヘは1982年に在日朝鮮人の三世として東京に生まれた。18歳まで朝鮮学校に通い、その後、織田ファッション専門学校に進学。卒業後作家活動を始め、2005年セレクトショップ「Loveless」にて展示したシャンデリア作品が注目を集めたのを契機にシャンデリア作家として独立。以降、国内外の企業やブランドへの作品提供、空間ディスプレイ、プロダクトデザインを手掛けてきた。2009年には韓国・ソウルのハンガラム美術館で開かれた「U.S.B: Emerging Korean Artists in the World 2009」展や、アメリカ・サンフランシスコのSUPERFROG Galleryにて作品展示を行ったほか、2016年には初となる作品集『TROPHY』を刊行。それに合わせ、ラフォーレ原宿で大型展覧会「トロフィー」を開催し、好評を得た。ぬいぐるみやアメリカン・トイ、達磨や招き猫、熊手といったアイテムをコラージュして作られるキムの作品群。「ジャンク・コラージュ」と評されるこうした手法をキムが採用するのは、キムの在日朝鮮人三世という出自と無関係ではない。作品には、常にマイノリティーとして生きてこざるを得なかったキムの多文化主義に対する理想が投影されている。だからこそ彼女の作る作品は一見ごちゃごちゃな「ジャンク」であるようにでいて、その世界は奇妙なバランスで均衡を保っているのだ。



Kosuke Kawamura (河村康輔) コラージュ・アーティスト/グラフィック・デザイナー

1979年広島県生。東京在住。ERECT Magazineアートディレクター。
06年、根本敬氏個展『根本敬ほかノ入選! ほがらかな毎日』入選。
様々なライブ、イベント等のフライヤーを手掛ける。
雑誌 EYESCRAEM、WEB Designing、TRASH-UP! (根本敬氏と共作で 実験アート漫画) を連載中。
美術館、ギャラリー等で個展、グループ展に参加。
サンフランシスコでの個展「TOKYO POP!!」を開催する。
Winston Smithとのコラボレーション作品集「2Idols」、単独作品集「2ND」を刊行。
2011年よりイベント、フェスにて様々なミュージシャンとコラボレーションでライブコラージュを行う。
2012年、スイスのローザンヌで開催されているフェスティバル「LUFF」にて個展を開催。



Lambda Takahashi (高橋ラムダ) ファッション・スタイリスト

2005年より白山春久氏に師事し、08年に独立。スタイリストとしてのキャリアをスタート。白山事務所所属。
オリジナリティあふれるスタイリングは国内外問わず支持を集め、雑誌やカタログ、パリコレクションなどその仕事は多岐に渡る。
2017年F/Wより自身のブランド「R.M GANG」もローンチ。



Ryota Aoki (青木良太) 陶芸家

1978年富山県生まれ。岐阜県土岐市のスタジオで制作を行う。
年間約15,000種類の釉薬の研究を通じて、金、銀、プラチナ等、陶芸では通常扱うことのない素材を使用し、誰も見たことのない美しい作品を生み出し続けている。国内外で年間開催される多数の個展を中心に現代美術のアートフェアにも参加し、他分野とのコラボレーションも行うなど、陶芸の魅力の世界に伝えている。陶芸家を志す学生や若手陶芸家を集めた交流イベント『夏のイケヤン★』等、陶芸界の活性化となる様々な活動やアプローチを積極的に行っている。



Usugrow (薄黒) ペインター/カリグラフィーアーティスト

90年代初頭、パンク、ハードコア等のアンダーグラウンドミュージックシーンで、フライヤー製作からアーティスト活動を始める。現在はイラストレーション、カリグラフィ、ミューラルを中心に製作。2005年から国内外にて定期的に個展を開催。
<http://usugrow.com/>
<https://www.instagram.com/usugrow/>



Yoshirotten (ヨシロットン) グラフィックアーティスト/アートディレクター/デザイナー

1983年生まれ。魚座。東京を拠点に、グラフィック、イラストレーション、スカルプチャー、インスタレーション、音楽など、幅広い分野において製作をしている。水たまりに映り込む新しい景色を表現したYOSHIROTTENの作品、PUDDLE (2013) に見られるように、彼の作品にはしばしば、彼の自然そして未来への興味が反映されている。彼の独特なネオサイケを彷彿させるスタイルは、現代の感覚を映し出しながらも未来的である。2013年にCALM & PUNK GALLERYにて個展PUDDLEを開催、翌年にはドイツ、ベルリンにてグループ展As We Collideに参加、その翌年2016年にはロンドンにてソロエキシビションFLOATING FUTUREを開催した。グラフィックアーティストとしてインターナショナルに活動する傍、Stevie Wonder、BoysNoize、Tiga、DJ Hell、KOHHなど著名アーティストのアートワーク製作、ファブリックブランドGALAのプロデュース、JAXAとの商品企画などアートディレクターとしても活躍。2016年NIKE Air MAX CONでの作品提供やadidas originalsやHEAD PORTERとのコラボTシャツを発表。また東京とNYCから発信するインディペンデントマガジンPAN MAGAZINEを出版。カバーデザインも手がける。グラフィック、web、映像などを軸にファッション、音楽、空間まで幅広く制作を行う。
<http://www.yoshirotten.com/>



Yu Nagaba (長場雄) イラストレーター

1976年東京生まれ。東京造形大学卒業。アパレルブランドへのデザインワーク提供をはじめ、広告、装丁画、挿画、パッケージデザインなど幅広く活動中。人物の特徴を捉えたシンプルな線画が持ち味で、Instagramに毎日1点作品をアップしている。主な仕事に、雑誌『POPEYE』表紙、SOFTBANK Lineスタンプ、Panasonic web広告、PRONTO カップデザインなどがある。また、キャラクター「かえる先生」の生みの親としても知られている。